

# 令和4年度学校法人藤村学園事業報告書

(認定こども園旭幼稚園・あすなろ保育園)

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

人間性豊かな園児の育成

《教育方針》

人間としての礎が作られるかけがえのない幼児期に、最もふさわしい保育環境の中で、人とのかかわりに配慮した心豊かな経験を積むことによって、意欲と思いやりを持った素直な子の育みを目指す。

### (2) 沿革

昭和11年4月1日 東京都王子区に旭幼稚園として東京都の認可を受け開設。  
昭和19年5月1日 太平洋戦争により空襲がはげしくなり、幼稚園を閉鎖する。  
昭和28年4月1日 山口市矢原1121番地(現在地)へ旭幼稚園を再建する。  
昭和49年1月1日 学校法人藤村学園となり旭幼稚園を設置する。  
平成30年3月26日 学校法人藤村学園認定こども園旭幼稚園となり、あすなろ保育園を併設する。

(3) 設置する学校 認定こども園旭幼稚園  
設置する保育施設 あすなろ保育園

◎設置する部門・園児数の状況(令和4年6月1日現在)

部門名	年齢	園児数
旭幼稚園	年長(4クラス)	111
	年中(4クラス)	116
	年少(4クラス)	95
	満3歳児(1クラス)	9
あすなろ保育園	2歳児(1クラス)	25
	1歳児(1クラス)	18
	0歳児(1クラス)	4
計	16クラス	378



(5) 当該年度の重要な契約

プールサイド日除けの設置、年少組室内エアコン更新工事、年中園舎屋根補修工事  
年長組照明 LED の設置、こあら組に伴うランチルーム改修工事  
給食にパン食メニューを新規に追加

- ・係争中の事件等については一切ない。
- ・決算後に生じた学校法人の重要な事実もない。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

貸借対照表、収支計算書については別紙参照。

- ・決算については良好であり安定した経営状況である。
- ・借入金は一切ない。

4. 事業報告

(1) 事業報告

◎認定こども園旭幼稚園

旭幼稚園は幼稚園として昭和 28 年に現在地に設立し、今年で 70 年になります。そして、平成 30 年 4 月より認定こども園としてスタートし、幼稚園児（1号認定児（新1号認定・新2号認定））、保育園児（2号認定児）が在籍し、午後 2 時までは、子ども達は違和感なく楽しく過ごしています。しだいに 1 号認定、2 号認定とそれぞれが自分たちの居場所を心得て行動できるようになりました。大きな成長と思います。

令和 4 年度は満 3 歳児クラスの新設を行い、6 月よりスタートさせました。これに伴い次年度の年少クラスの園児の確保ができ、より安定した運営が行えました。アンケート調査により保護者からも未満児クラスで集団行動を経験することによって「できる」ことが多くなった、年少になる準備ができて安心感が持てたなどのお声をいただきました。

◎あすなろ保育園

旭幼稚園は認定こども園となり、保育園「あすなろ保育園」を併設しました。初めての経験で職員も研修等を重ね準備して平成 30 年 4 月を迎えました。随分緊張のスタートでしたが、子ども達の成長に支えられ無事に 5 年を終える事ができました。職員の頑張りもありますが、園の試行錯誤にもかかわらず支援いただいた保護者の方のおかげと感謝しております。

5 年間の経験を生かして、さらに皆様に喜んで安心してお子様を預けていただける保育園にしたいと思います。

(2) 教職員の採用

幼稚園教諭の採用が難しいと言われる中、令和 4 年度では 2 名採用できました。この 2 名の新任の教諭を丁寧に指導して個々の才能を伸ばしながら、保護者や子ども達からも信頼される先生になるよう育てています。

### (3) 施設・設備の整備

子ども達にとって安心して安全に遊び学べる施設・設備は幼稚園経営の基本です。その為に毎年整備の予算を組んで施行すると同時に将来の園舎建替えも計画を立て基本金という積立金で準備をしております。また、その長期計画に合わせて園舎の延命のメンテナンスも毎年計画を立てて行っています。

### (4) 未就園児の支援

SunSun キッズという子育て支援の会をつくり、月に2回程度開催しています。申込みが多くなかなか全ての方にご参加いただくのは難しいところです。色々な工夫を重ね、多くの方にご参加いただき好評を得ており、入園面接でも SunSun キッズが良かったとの声をたくさん聞けてうれしく思っています。

### (5) 和の文化

裏千家の茶道を山口市でも高名な井上宗葉先生にご指導いただいて10年、前田宗和先生にご指導いただいて5年目になります。本格的な茶道と礼を子ども達に教えていただき、子どもといえども本物を教える大切さを改めて感じています。

### (6) 職員研修

今年度も職員研修はオンラインが主流でしたが、キャリアステージに応じて継続的に資質・能力の向上に取り組むことができるよう、計画的に研修を実施するという旭幼稚園の研修基本方針に基づき、基本研修として新規採用教員研修会をはじめ、中堅教員研修会、乳児教育研修会などに参加しレベルアップを図りました。

また、今年度は本園の山下副園長が「園児が心を寄せる環境の構成」と題して、幼保連携型認定こども園への移行を見据えた内容として幼保連携型認定こども園教育・保育要領を中心に研修指導をしました。

主任級の職員についてはマネジメント研修を受講し、これからの旭幼稚園の方向性に柔軟に対応できようスキルアップに努めています。

これらの研修を通じて、教職員の意識改革や組織としてのマネジメント、意欲ある人材の育成・定着を目指すことができるようになるなどの成果を図りました。

### (7) 幼保小連携

数年前、近くの小学校より県教委派遣の教諭をお迎えして幼保小連携について学び、同時に小学校教育についてや年長児をいかに成長させて小学校へ進学させるかなど多くのことを教えていただきました。夏休み前にはサマーパーティーを行った際に近くの小学校へ行き実際の授業に子ども達を参加させていただき小学校への期待を高めました。

それ以外にも連絡協議会等へ参加して情報交換し、スムーズに小学校へ上がれるように日々の保育も心がけています。また、理事長も大歳小学校の学校運営委員となり小学校教育への連携及び情報収集に努めています。

#### (8) 食育の推進

旭幼稚園はどこよりも素晴らしい給食施設を持っています。

以前は外部業者によるお弁当給食を実施していましたが子ども達の食べ残しがあまりにも多く頭を悩ませておりましたが、ぜひ自園調理の温かい給食を提供したいという思いから給食施設をつくりました。

北九州市の浅川幼稚園から和食のすばらしさを教えていただき、和食の良さを生かした給食を目指しており、幼少期から味覚の記憶を植え付けていきたいと思っています。

今年度から新たに主食メニューの中にパン食を加えました。要望の多かったパン食は子どもたちにとって大変人気のメニューとなっています。

#### (9) ICT化の推進（情報通信技術）

教職員の働き方改革、労働時間軽減の上から、ICT導入は必須です。今やパソコンだけでなく、音声をそのまま文字、文章化でき、実際に使っている幼稚園もあります。タブレットやパソコンの環境を整え、今後職員が幼児教育、保育に専念できるようにしたいと思います。

尚、令和3年度から保護者へ子どもの園生活の様子を動画配信しており好評を得ています。

#### (10) 防災

旭幼稚園では避難訓練を毎月1回行っています。(年12回)

火災、水害、地震、津波、不審者等交互に実施し、子ども達も年中、年長児は緊急事態に対して体で覚えてきています。しかし、災害は忘れたころにやってきます。突発的なものであるからこそ毎回設定を変えて真剣に取り組んでいます。

また、令和3年度から非常通報装置も設置しており、いつでも短時間で消防や警察に直接通報できるようになりました。今年度は避難訓練の際も活用し、非常時は誰でも使えるように訓練しました。

災害時に保護者へ子どもの引き渡しをする訓練についても実地での訓練を織り込んでいます。園では保護者の迎えのみ引き渡しをしますが、安全が確認できるまでは園内に親子で留め置く方針です。

#### (11) 役員賠償責任保険

学校法人の理事、監事、評議員の方を対象とした役員賠償責任保険に加入し、安心して「学法」の運営に参画していただけるように配慮しております。

終わりに当たって理事長より報告させていただきます。

「私学経営は基本無借金経営である」をモットーに藤村学園は経営にも力を注いでおります。

令和2年度より、基本金2号をスタートし3年目となり10年計画の長期計画を立て、将来の園舎改築に備えております。しかしながら、幼稚園は学校であるので基本の教育経費の投資も全国平均を維持し、バランスのとれた経営をしております。

また、子どもたちが楽しく関心をもてるようにテレビを使った英語教育や指で考える折り紙教育など、他に類のない「遊びながら学ぶ楽しさを身につける教育」を令和3年度から実施しています。子供たちがたくさん感動して豊かな人生を送って欲しいという思いから取り入れています。

令和5年度には大型遊具（木製）の設置や古くなった遊具の全てをメンテナンスする予定です。

給食費に関しましては、物価高騰に伴い食材も高騰しているため令和5年度より園児は月当たり900円値上げします。

最後になりますが近年は、旭幼稚園を卒園した父兄が、自身の子どもにも旭幼稚園で同じような経験をさせたいと入園希望をされるご家庭が増えており、旭幼稚園の伝統のすばらしさと大切さを身をもって感じているところです。

これからも今まで以上に全職員一丸となって旭幼稚園の幼児教育を発展させていくことが、私の責務と思っています。